

ナティーク城山からのお便り ～しまなみ海道・因島～

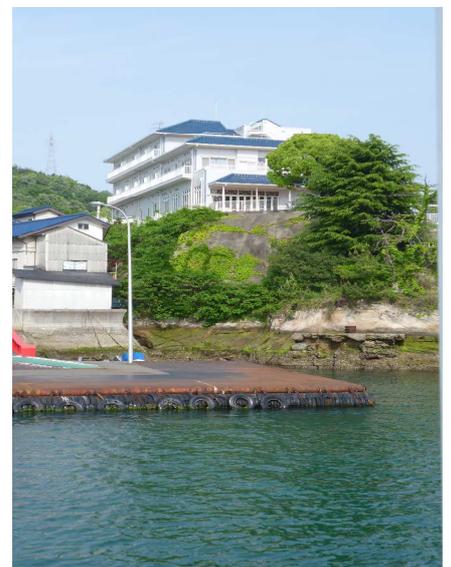
2016.特別号
平成28年 5月

平成28年度 日本遺産認定決定 「日本最大の海賊 三島村上氏」の本拠地 因島長崎城跡に建つナティーク城山

このたび、平成28年度の「日本遺産(Japan Heritage)」認定が発表されました。日本遺産はクールジャパンをテーマに、2020年の東京オリンピックまでに日本および外国からのゲストに訪れてもらいたい観光資源を100か所認定する文化庁の事業です。今年度は全国で19の観光地が認定されました。その中で、今治市・尾道市が共同申請した「日本最大の海賊」の根拠地:芸予諸島-よみがえる村上海賊「Murakami KAIZOKU」の記憶-が認定されました。

戦国時代に活躍した村上水軍は、因島(尾道市)、能島(今治市)、来島(同市)を本拠とした三つの家(三島村上氏)がたがいに団結し、芸予諸島の全域を支配しました。因島の南部に位置する「長崎城跡」は典型的な海城で、標高20m程の丘にあった城です。この長崎城跡に「ナティーク城山」が建っています。海岸に岩礁ピット(船の櫓杭あと)が認められます。戦国時代には海上に半島のように突き出ていると考えられ、周りには船隠しがあったと推測されます。城の背後には、荒神山城跡があり、長崎城の詰め城であると考えられます。この海城は、因島村上氏が向島の余崎城へ移るまで約180年間の本拠地でした。織田信長に仕えた宣教師ルイス・フロイスは、村上海賊を「日本最大の海賊」と呼んだほどです。

当ホテルのウッドデッキからの海への眺望は狭い海峡を見渡し、今も多くの船が行き交う旅情のある風景は、海上交通の要衝として戦国時代を彷彿とさせます。



長崎城跡に建つ「ナティーク城山」

因島には、村上水軍ゆかりの瀬戸内海を一望できる「白滝山」や、その伝説がのこる「地蔵鼻」、「因島水軍城」などの観光スポットが数多くございます。

現在、尾道市の観光客入込数は、前年比約20%の増加となっております。昨年2015年には同じく日本遺産に「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」として選出されております。また近年「しまなみ海道」は世界屈指のサイクリングロードとして注目を集め多くのサイクリストの方に来ていただいております。

尾道から今治へつながる海の道「しまなみ海道」は、日本遺産の道として新たな魅力をそなえた観光地になりました。日本遺産観光のお食事場所に、またご宿泊に、みなさまどうぞホテル「ナティーク城山」をご利用ください。



海の上のオーベルジュ ナティーク城山
〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2254-6
tel.0845-26-0046 fax.0845-26-0047
Email.info@nautique.jp URL.Http//nautique.jp